

こぶしの風



こぶし会
ロゴマーク

第46号

(題字: パドルダッククラブ合作)

発行: 令和5年11月20日 発行: 社会福祉法人信濃こぶし会 編集: 広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1 電話 (0265) 35-8511 FAX (0265) 35-9016 E-mail: kobushi@dia.janis.or.jp URL http://kobushikai.or.jp/

お出かけ! みんなの笑顔大集合



(ヘルパーステーション小川)

目次

理事長 雑感	2P
ヘルパーステーション納車	2P
こぶし園床張替・人事異動	2P
秋シリーズ	3P
職場紹介◎こぶし園・職員の素顔	4P
編集後記	4P

作者/ぼっぽ合作



作品
折紙で作った
「かかしとトンボ」

==== 安心して暮らせる地域をつくるために ====

尊敬してやまない93歳の恩師

理事長 高本 隆光



私事になりますが、私の師と仰ぐ先生について記します。福祉の職に就いて以来、支援の基礎を一から教えられ、今では生き方そのものを学ぶ御年93歳の大先生です。先生の口癖は「いいじゃないですか」と、利用者さんの失敗や俗に言う不適切行動も懐深く受け止めてしまいます。そして利用者さんの良さや頑張りやを体いっぱい表現されます。ある時、着ている服をビリビリに破く利用者さんを前に、私は只々止めるよう促しました。すると見かねた師は「いいじゃないですか。言いたいことがあるんだね」と優しく微笑みます。間もなく利用者さんは服破りを止め、師に頭を撫でてもらっているのです。この違いは何なのか、愕然としたことを今も思い出します。新米の私はそれから師のしぐさや言葉を真似して、師になりきろうとしました。結果はご想像のとおり、上辺だけの真似事では利用者さんの心に響くはずありません。あれから数十年、真の師に近づくべく精進したつもりですが、いまだ遠く及ばずです。

一線を退かれた後も、今尚、数反歩の広大な畑を一人で耕し、様々な野菜を収穫しては福祉施設や保育園に届けておられます。背筋が伸び、シャキシャキ歩かれる姿は年齢を感じさせず、尊敬の念の他ありません。

新聞紙上では、虐待や人権侵害のニュースが報道されています。記事を読むたびに他人事とは思えず襟を正すと共に、「いいじゃないですか」「利用者さんのすべてを受け入れる」の教えが思い浮かびます。私が新米当時魔法に聞こえた「いいじゃないですか」この言葉の裏には絶大なる利用者さんとの信頼関係が成立していたのでした。また、師は「どんな障害があろうとも必ずや周囲から認められ当てにされる存在になる。その人（利用者さん）の良さを引き出すことが、支援者の仕事なんだ」と常々おっしゃられていました。

先日師とお会いし、改めて心が洗われる思いでした。また、私にとって人生の指針が居ることの有難さを痛感した次第です。



ヘルパーステーション小川 2台納車



ヘルパーステーション小川では9月にN-BOX、10月にはフリードが納車されました。

N-BOXは10年以上使用した軽自動車との入れ替え、フリードは念願の中型普通車の増車です。納車日には簡単な

納車式を行い、安心安全な運行を祈念しました。

早速、毎日の支援や休日のグループ支援などに大活躍！2台とも後部はスライドドアなので、乗降時は利用者さんも支援するスタッフも安心です。室内も広々していて快適な時間を過ごせています。



こぶし園 事務所の床一新

去年に引き続き、今年度は事務所と本部、静養室の床の張替えをしました。職員の机を अच्छにこっちにと引っ越しながら張替え工事に、利用者の皆さんは「どうなるの?」と興味津々でした。「この際、片づけよう!!」と、事務所も倉庫も全てものを片づけてちょっとスッキリしました。



カーペットからフローリングへ

人事異動のお知らせ

【非常勤職員】

- 9月30日付退職
 - ◇グループホーム……………大 内 春 子
 - ◇ヘルパーステーション小川……島 岡 笑 子
- 10月31日付退職
 - ◇本 部……………市 澤 恵 奈

【非常勤職員】

- 10月1日付新規採用
 - ◇本部事務……………元 島 真由美

表紙の説明

ヘルパーステーション小川では、『美味しいごはん』『スポーツや地域の行事に参加』『買い物して料理』『家族に会いに行く』など…利用者さんのお出掛けや生活のお手伝いをしています。
楽しい・嬉しい・面白い様々な表情が素敵です。



秋だ! 秋だよ~

スポーツの秋 **ゲーム**

風船バレー

朝夕、めっきり寒くなり初霜の便りが届く頃となりました。

そんな中、“運動の秋・スポーツの秋”という事で、最近グースでは“風船バレー”を行なっています。



室内の柱と柱にビニールテープを巻いてネットを作り、チームに分かれて試合開始!

自分のいるコートに風船が落ちなければ何回でも風船に触ってOKという、ゆるゆるなルールの中、体を動かし楽しみながら、白熱した戦いを繰り広げています。

天候を気にする事なく室内で簡単に出来る運動なので、皆さんも“風船バレー”いかがですか?

ミニスポーツ大会

第二こぶし園

第二こぶし園の希望登園は「スポーツの秋」をテーマに「ミニスポーツ大会」を10月7日に行いました。

最初に「風船飛ばしゲーム」、これはみんなで床に座り、大きな風船を使って、床に落とさないようにするゲームです。次に「囲碁ボールゲーム」、囲碁ボールのセットを使い、ボーリング風のゲームを楽しみました。終始いい笑顔と生き活きとした表情で楽しんでいました。

そして、一番盛り上がったのは誰もが知っている「パン食い競争」でした。みんな真剣そのもので、いとも簡単にパンを取る人もいれば、なかなか取れず四苦八苦する人もいて、真剣な中にも笑いありと、秋の一日をみんなで楽しく過ごしました。



お菓子ありがとう

パドルザッククラブ

10月の一大イベント!ハロウィンが今年もやってきました。

可愛らしい魔女やかっこいいドラキュラの衣装に変身し、手作りのお菓子入れを持ち、ユアサポートぽっぽと喬木事業所を訪問しました。

「どんなお菓子がもらえるのかな!」とウキウキ、わくわくの利用者さん。

元気よく、『トリックオアトリート!』と言って職員さんからたくさんのお菓子をもらっていました。お菓子をも



らうと「ありがとうございます」と素敵な声も聞こえてきました。「今日は、特別な日だね!」と、とても嬉しそうな利用者さんの姿でした。



おはぎづくり **収穫の秋** 古代米の稲刈り

ユアサポート ぽっぽ

ぽっぽでは、おはぎづくりをしました。お米ともち米を混ぜて炊いたものを、事前に準備をして、熱々の内につぶしました。つぶすたびに白飯が引っ付いて、「重いなあ」と言いながらも一生懸命つぶしました。

次は、つぶしたものを丸めて行く作業です。ラップの上に熱々のつぶした白飯を乗せて、くるくると丁寧に丸めました。

最後に、ごま、きな粉、つぶあんをつけておはぎの完成!三種類のおはぎを食べることが出来、笑顔がたくさん見られました。



今年の古代米は猛暑の影響が生育に時間がかかり、稲刈りが遅くなったためイノシシに荒らされたり、食べられたりしてしまい…田んぼは大変な状態になってしまいました。10月中旬にようやく手刈りと機械を使って稲刈りをしましたが、倒れた稲は刈り取ることが出来ず、残念ながら多く残ってしまいました。刈った稲は、利用者さんと職員で園の近くの畑へ運び、はざかけしました。そして後日、脱穀も終わりました☆

丹精込めた古代米が、豊丘マルシェなど販売先でたくさん売れると嬉しいです(*^-^*)



こぶし園 第二こぶし園



こぶし園



こぶし園は「就労継続支援B型」という事業を行っている事業所です。就労という言葉が入っている通り“働く場所”です。野外で企業さんと一緒に仕事をするグループ、畑や田んぼ、薪現場で仕事するグループと、企業さんから依



頼された仕事を行うグループに分かれて仕事をしています。中には日替わりで色々なグループで仕事をする方もいます。

“働く場所”といっても思いはそれぞれ、好きなものを買うために稼ぐ!!という方、仕事を通して仲間と過ごす時間を大切にされる方、達成感を得るために仕事をされる方と様々です。そんな中私たちは利用者さんが“働きたい”という思いを持ち続けられる事業所でいられるようにさまざまな仕事を用意し、支援しています。



職員 の 素 顔

ヘルパーステーション小川 林 知子 (サービス提供責任者)



こぶしの風発刊から別のコーナーの原稿は何度か書いていますが、このコーナーは初登場です。

コロナ禍の前はスポーツ観戦や舞台やライブを見に行ったり、研修に行ったりと北海道から九州まで飛び回っていました。某アイドルのドームライブ

では最前列からスタンド最後列まで経験済です。

私と言えば……、自他共に認めるスヌーピー大好き人間。ご不要なスヌーピーグッズがありましたら、ぜひご一報ください。



秋と言えば、「読書の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」etc…、沢山の秋の楽しみ方があります。先日、芸術に触れようと「長野県美術展」を観に行ってきました。芸術は敷居が高そうだけど、その伝統に触れながら今を創造することのできる魅力に心の栄養をいただきました。人は必要な時に必要なものを自然と欲して取り入れているようですね。食欲にまかせて、秋の味覚の満喫しすぎは注意が必要ですけど。
(山口 睦)

パドルダッククラブ 金田 由華 (看護師兼支援員)



パドルダックにお世話になって3年目になります。

一つひとつの医療的ケアに緊張しながらも子どもたちの反応や成長を感じ、季節を感じ遊ぶことを私自身も楽しんでいます。

私は、6歳と3歳の子どもがいます。休みの日はイベントや公園など、子どもが喜ぶ姿を見たいと、外で過ごすことが多いです。私のライフスタイルの一つとなっています。

これからも利用者さんとご家族が幸せに過ごすお手伝いをしていきたいです。